

一般質問通告書

令和5年 北秋田市議会 9月定例会

順位	1-2	質問者	7	福岡 由巳	(無会派)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨						理事者の答弁	
1. 「憩の森」の今後について ① 7月の調査の結果について 1) 「憩の森」に関して市長は現地確認してから今後について検討するとしていたが遅ればせながら先の議会で7月に行うと言明した。その結果はどうであったか詳細な報告を求める。 2) 「憩の森」の今後については、条例等にしたい利用者の意見を聞き早急に整備すべきと考える。調査の結果、今後の具体的な計画はどうなっているか説明を求める。 2. 森吉山県立自然公園の国立・国定公園昇格の推進について ① 市民を交えたシンポジウムの再開について 1) 北秋田市主催の6月24日国立・国定公園化キックオフシンポジウムは「森吉山の価値と未来」を展望する話は少なく、参加者に意見を求めることもなく、「市民の知りたい内容からほど遠い」シンポジウムとなった。 北秋田市民への判断材料を示すため、再度、タウンミーティングを開催すべきと考えるがいかがか。 ② 北秋田市として公園拡張地域を提案すべきことについて 1) 2月24日、4団体が提出した要望書で提案した拡張地域(案)は30by30の国際目標及び公園の利用増進を図るうえで説得力あるものとするが、市としても環境省に提案すべき事案とするがいかがか。 3. 森吉山荘の早期再開に向けて ① アンケート調査後の事業者の応募動向について 1) 私は、3月議会の質問で市が示したプロポーザル募集に応募がなかったのは「温泉水の確保ができていない」「施設改修に制約がある」「自由な料金設定ができない」「預託金の徴収が原則になっている」等の要因があるのではと指摘したが、アンケート結果からもそれらが見受けられた。間もなく2回目の冬を迎える。森吉山荘を公有の観光施設としてこのまま夏草の中に埋もれさせておくことはでき							

ない。アンケート調査後の応募動向はどのようになっているか。

②温泉水確保について

- 1) 指定管理者制度又は事業者への譲渡であっても温泉水の確保が前提条件である。温泉水確保のためボーリング調査を行うのか。行わないとすれば何を条件に森吉山荘の再開を担保するのか。

4. 林岱の教職員住宅について

①改修の緊急性について

- 1) 林岱にある教職員住宅2棟の外観は見るに堪えない状態である。これまで幾度となく訴えてきたが放置されたままである。今は、ペンキを塗るだけでは済まされず、屋根の全面改修が必要と感じられる。
ほかにも見られるが、当局は放置しておくことが基本方針ではないと考えるが、何故手をかけないのか。改修するための基準はなにかあるのか。説明を求める。そして、利用者の気持ちを察して今すぐ改修することを求める。

5. 北秋田市文化遺産について

①オオシラヒゲソウについて

- 1) 北秋田市指定天然記念物にすべきと提案してからかなりの年数が経過するが、何故指定しないのか説明を求める。

②口曲がり地蔵について

- 1) 口曲がり地蔵は、一昨年2月1日付で北秋田市指定文化財に指定され、その後どのように扱われているか依然として動きが見えない。昨年12月議会一般質問においても同じ質問を行っているが動きがない。何故、放置しておくのか説明を求める。